

第三次河北町観光振興計画（案）に対するパブリックコメントの意見

提出された意見の概要とそれに対する考え方

提出された意見の概要	意見に対する考え
<p>サハトベに花のプラネタリウム施設は、県内最大級のドームスクリーンです。他地域との差別化には打って付けの施設であると考えます。</p> <p>「プラネタリウム」を計画（案）に明記し、既存プラネタリウム施設の利活用を進めていただきたいと考えます。</p>	<p>第5章6（2）④観光資源の活用 を下記のとおり修正します。（P 15）</p> <p>また、近年のアウトドアブームにも対応した最上川グリーンパークや引竜交流広場、<u>県内最大級のドームスクリーンによるプラネタリウム</u>など施設の魅力づくりと活用を図ります。</p>
<p>田井橋を架けてほしい。</p> <p>田井橋を架けることによって、東根工業団地方面と天童市以南への移動が分かかれ、利便性や観光インフラ性も高まると思われまます。町内商業地域を利用していただく際も同様です。災害や通行止めの際も、河北橋、谷地橋、田井橋と3橋あれば備えにもなります。</p>	<p>田井橋架橋については、今後も田井橋再架促進期成同盟会を中心として、進めてまいりたいと思ひます。</p>
<p>地域商社の再考について</p>	<p>地域商社の内部事情についての関与はできませんが、今後とも地域商社の活動を支援してまいります。</p>
<p>第2章 河北町の観光を取り巻く現状と課題</p>	
<p>1（2）主要な施設の入館者数で、コロナ前の道の駅が7万人、動物園が4万人、紅花資料館が約2万人と低迷している原因の調査・分析ができていない。（P 4）</p>	<p>1（2）観光入込状況の中で、「平成28年度より横ばい傾向」と現状を分析し、記載しております。（P 4）</p>
<p>2 観光関係協力団体にアンケート及び聴き取り調査を行っているが、少なくとも専門の調査会社に依頼するなど確度の高い情報分析が必要ではないか。（P 6）</p>	<p>この計画においては、町の経費をかけて、専門の調査会社に依頼し、それぞれ運営を行っている施設の情報分析を行うことは考えておりません。</p>
<p>2（5）観光振興に必要なことについて、上位3項目は、「広域連携の強化・充実」、「地元名物の磨き上げ」、「二次交通の整備」とあるが、3 課題の（3）では観光資源の整備が突然出てくるなど論理構成もおかしい。（P 6. 7）</p>	<p>「3 課題」では、2 観光関係協力団体のアンケート及び聴き取り調査からだけではなく、観光施設の現状を鑑み、観光者の満足度向上や地元経済の活性化、今後も継続し運営していくための課題を記載しております。（P 7）</p>

提出された意見の概要	意見に対する考え
<p>3(3)観光資源の整備は必要な項目であるが、委員の皆さんに伺いたい。観光施設を観光客の目線で見たことがありますか。</p> <p>紅花資料館の休館日には売店もしまっている、休館を知らずに来た観光客はなにも買うことができない。</p> <p>児童動物園は、鹿が一部コンクリートの上を歩いている。猛禽類の展示檻には数羽が押し込められており、その周辺は酷い悪臭で生態観察どころではない。</p> <p>ひなの湯は観光温泉ではなく、地域の年寄りの公衆浴場になっている。</p> <p>このような状況では、観光客を迎える態勢等がお粗末で、観光客の再訪問はないと言わざるを得ない。(P 7)</p>	<p>このご意見に限らず、今後、整備・改善の必要性もあることから、「3 課題(3)観光資源の整備」と記載しております。</p> <p>(P 7)</p>
<p>紅花資料館が観光施設なら年中無休に、動物園の鹿は草や樹木のある環境で、猛禽類は森の中からネズミを捕りに飛んでくるなど動態展示を検討すべきだろう。</p> <p>また、動物病院の併設も要検討項目。</p>	<p>各施設において、検討させていただきます。</p> <p>「動物病院の併設」については、町としては考えておりません。</p>
<p>3(4)広域連携の取組では、他市町村の知名度の高い観光地を結んで広域の周遊ルートに組み込む必要性に言及しているが、他の市町村で実施していることを、今からではお粗末すぎる。(P 7)</p>	<p>現在も他の市町と協力し、広域の周遊ルートに組み込んでございますが、更に今後も連携を深め、協力していくために、「広域観光の魅力づくりに取り組み続ける必要」と記載しております。(P 7)</p>
<p>3(5)インバウンド対応では、その必要性に言及、対策が必要。(P 7)</p>	<p>第5章4 広域連携戦略において、インバウンド対応について、記載しております。(P 13)</p>
<p>3(6)町民の理解・参加などといったが、町民が誇れるような観光施設とリピート観光客の増加を実現する質の向上が一番大事。</p> <p>(P 7)</p>	<p>ご意見のとおり町としても、町民が誇れるような観光施設とリピート観光客の増加を実現できるよう努力し、関係機関等と協力していきたいと考えております。</p>
<p>第3章 計画の基本方針と目標</p>	
<p>2 数値目標が示されているが、ひなの湯の数値は、常連客の数値が入っているのか説明がない。ひなの湯は入湯者数ではなく観光者数を把握する。(P 8)</p>	<p>他の一部施設も含め、常連客の数値及び観光者数の把握は非常に困難であるため、下記のとおり修正します。</p> <p>(P 8)</p> <p>※一部利用者も含む</p>

提出された意見の概要	意見に対する考え
第4章 第三次河北町観光振興計画の体系	
<p>町の総合計画の基本的施策があつて、それを受けの形で、観光振興計画の振興戦略、基本戦略と具体的な計画が示されなければならないが、具体的に、なにを、だれが、どうするのか、記載がなく、確度の高い数値目標もない。</p> <p>(P 9)</p>	<p>この計画では、基本的施策の1つ1つに対してではなく、町の総合計画の観光分野として、振興戦略を示しております。(P 9)</p> <p>また、「第3章 計画の基本方針と目標」で各施設、イベントの観光客数の目標(P 8)、「第5章 振興戦略」で基本的な取組等(P 10～16)、「第6章 観光振興の推進に向けた関係者の役割」で町民、観光関係団体・事業者、町ごとの役割(P 17)に、基本的な方向性と振興戦略を記載しております。</p>
第5章 振興戦略	
<p>7つの振興戦略の中の基本戦略では、どの部所がどのようになど、具体的な施策が出ていない。</p> <p>具体的な戦術を記載すべきだと思うが、これから決める場合でも、予定する担当部署を記載することは可能だろう。(P 10～16)</p>	<p>この計画においては、基本戦略一つ一つ部署ごとに対応するのではなく、町全体を一つの主体として考え、町の観光振興の基本的な方向性と振興戦略を定めるものとしております。</p>
<p>1(2)① どんがまつりの活用で集客方法はどうか。</p> <p>例えば、林家舞楽は文化遺産にも指定されているので、山形や仙台・東京での公演。ふるさと納税の返礼品に屋台引き券の発行、樺坂等芸能人の招待など(P 10)</p>	<p>具体的な集客方法については、谷地どんがまつり実行委員会において、検討するものとします。</p>
<p>1(2)① 紅花資料館の魅力的な販売品開発としては、本物の紅の販売など。</p>	<p>具体的な紅花資料館の販売品開発については、指定管理を行っている河北町観光協会を中心に、検討させていただきます。</p>
<p>1(2)② 冷たいラーメンの発祥の地は谷地の「いろは」だと認識していたが、いつの間にか山形市の栄屋になっている。</p> <p>どちらが早いのか検証したうえで、谷地が早ければ、元祖はこちらと宣言する。(P 10)</p>	<p>根拠となる文献が見つからないため、町としての対応は難しいものと考えます。</p>
<p>1(2)② 大吟醸酒の醸造体験ツアーパッケージの開発。(P 10)</p>	<p>現在、町内酒蔵の体験ツアーを進めております。</p>

提出された意見の概要	意見に対する考え
ふるさと納税店舗型の導入。	返礼品提供事業者の意向や、他の観光施策との相乗効果を踏まえて検討させていただきます。
1 (2) ③ 河北ブランドのブラッシュアップ、の具体策は、どうするのか。 ひな祭りでは、旧家のひな展示だけではないイベントが必要なのではないか。 例えば、稚児行列や時代ごとの衣裳行列など、参加は全国から。	ブランド磨き上げの具体策については、谷地ひなまつり実行委員会など、それぞれ主体となる団体・事業者等が中心となって、検討させていただきます。
2 (2) ④ 魅力ある観光ルートの整備 では、観光客が、河北町の観光資源を活かした旅を十分満喫できるような観光ルートと記載しているが、そのような観光ルートを調査しているのか。 観光業者等から様々な情報を得て原案等を作っているのか。なにも記載がない。 (P 11)	観光業者、関係機関等と連携し、観光ルートの整備を進めております。 第5章4 広域連携戦略において、「関連団体と連携した旅行商品の造成」(P 13)との記載をしておりますが、さらに、2 (2) ④ 魅力ある観光ルートの整備を下記のとおり修正します。(P 11) 観光客の多様なニーズに対応して、広域的な観光ルートを設定する必要もあり、隣接する自治体や広く村山地方の自治体、観光関係団体等と連携していきます。
3 (2) ③ 町なかと周辺地域を活かしたまちづくり とあるが、町なかはスカスカ、活気ある店舗と魅力ある街並みをどう作るのか。 (P 12)	記載のとおり、どんがホールや遊蔵、役場新庁舎やリニューアルされる県内唯一の児童動物園などを活かし、活気ある店舗と魅力あるまちなみとして、地域住民の理解と協力を得ながらその維持を図ります。 (P 12)
4 (2) ①②③ 広域連携では、ひな祭りやドンガ祭りのツアーパッケージとして、天童、東根、寒河江、村山のホテルとタイアップしてツアーを売り込むなど施設との連携を進める。 (P 13)	7 (2) ①に「旅行業者が旅行商品を造成する時期に直接訪問を行うなど、キャンペーン活動を継続していく」と記載しております。 また、各まつり実行委員会において、村山地域のホテルや旅館へポスターの送付を行っています。 (P 15)
4 (2) ①②③ ワインは地域連携で、朝日町のものを使うなど良質のものを。 (P 13)	③近隣自治体との連携として、朝日町ワインも観光資源の一つだと考えています。(P 13) また、6 (2) ③ 「ワインやナッツなど地域資源を活用した新たな特産品やブランド形成に向け」と記載のとおり、河北町産ワインの活用を考えております。 (P 15)

提出された意見の概要	意見に対する考え
<p>5 (1) (2) ① 看板だけでない観光案内所の職員のスキルは確保できるのか。 具体的にすぐ動けることがあるのではないか。(P 13. 14)</p>	<p>日頃より、情報収集を心掛け、観光協会を中心に連携して情報共有を行い、町の魅力を発信していきたいと考えております。</p>
<p>7 (2) ① 宣伝戦略等については電波媒体や出版物の広告では2か月前、1か月前、2週間前、1週間前、3日前、当日、等どのタイミングが集客に効果的か、WEB広告の開始時期と広告頻度によるクリック数や閲覧数を把握することは可能であり、効果的な方法による実施・検証を行い、効果が最大になるよう修正していく取り組みが必要。 (P 15. 16)</p>	<p>効果的な宣伝となるよう、取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>第6章 観光振興の推進に向けた関係者の役割</p>	
<p>町民に対して、どのように理解と定着を図るのか。 関係団体と事業者、役場は連携してこの計画を実現するスキーム(仕組み)をここに、描かれなければならないのではないか。 (P 17)</p>	<p>第6章は、関係者の役割について記載しております。 町民の意識の向上につきましては、第5章5(2)②に記載しております。(P 14) 1(3)に、「町は、観光協会を中心とした観光関係団体・事業者との連携を密にしながら、本計画に基づいた観光振興を進める」と記載しております。 (P 17)</p>
<p>事務局にはブランド推進室も入っているので、ブランド戦略・戦術、業務品質向上の関係をリスキリングしてほしい。</p>	<p>そのように取り組んでいきます。</p>